

女性懇談会進捗状況(神坂地区)

※ 懇談会で出た質問全てが掲載されているわけではありません。

※ 答弁者の役職名は開催当時のものです。

市民病院の受診制限について

平成 22 年度

総務人事課 1070

質問 (神坂地区住民)

・市民病院は内科初診外来、里帰り出産の制限いつまで続くか。

答弁 (市長)

△

制限は産科(H19年度)と内科(今年4月から)「急性期機能」=市民病院の大きな役割。公立病院が担う機能高度医療(急性期機能)には高度機械と専門の医師を備える必要がある。診療所など中山間地で開業医が成り立たないところでは「地域医療」を担う。市民病院は「高度医療」を担うが、医師の不足により急性期以外のものを診ることはできなくなったため受診制限。
全国的に医師不足。臨床研修制度によって都市部の病院へ研修医が行き、大学病院の医師確保のため地方から医師が引き上げられ、地方の病院に医師不足となった。名古屋大学へは各診療科ごとにお願ひに行き、増員できた科もある。全国的に医師不足が問題で、お金などの待遇の問題ではない。公立病院として坂下病院もあるが、市民病院との連携、坂下病院と重複する部分は整理し、検討していく。制限はいつまで続くか、今見通しはいつとは言いがたい。よりいっそう働きかけを強めていきたい。

実施済・実施中の事項

●

・平成23年4月1日から総合診療科を設置し診療に当たっています。
・助産師外来を実施し、医師の負担軽減を図っているが、里帰り出産の再開の目途は立っていません。

今後の計画等

・内科初診外来については、今後もかかりつけ医制度の周知を徹底する中で、かかりつけ医からの紹介の窓口機能、疾病がまだ明確でない患者さまの診療、受診すべき専門診療科が病院にない患者さまの診療をしっかりと行っていきます。
・里帰り出産の再開については、現在、年600件の出産を3名の医師で支えている状況であり、医師の確保が難しい状況の中、再開の目途は立っていません。

予定日

鳥獣害

平成 22 年度

農林事業課 1072

質問 (神坂地区住民)

サル、イノシシ多くて困る。昨年も被害が多く、出てからでは困るといったがそのとおりになった。熊もイノシシも日常茶飯事。彼らに山へ戻ってもらうようにドングリを植えるとかもあるかもしれない。里山の整備も自分たちがやることもある。生ゴミを捨てないとか自分でやることもある。イノシシたくさん捕れるので肉にしてもどうしようもない。温泉館で季節限定のメニューにしてもらうとか、保健所の関係なども市から助力してもらえるといいのでは。恵那ではソーセージにしてもらえばという話があって猟友会とも話して提供している。市としてのアドバイスなどもらえると話が進むのでは。猟友会の人も早急な対応など大変なので(新鮮な肉)猟友会も高齢化もあるが、更新費用も大変、市の援助があるといい。

答弁 (市長)

○

被害にあわれている方と市役所、猟友会、森林整備で組織を立ち上げる。そこで直接やり取りのなかでするように持って行きたい。総合的な鳥獣害対策会議を立ち上げて、予算は予算で準備していく。
山奥の実のなる木の植林、里山の手入れによる境界、畑に近づけない。捕獲すること。被害を受ける方の捕獲への助成。市役所の職員に鉄砲の免許という話もあるが、捕ったらどうするかも必要。
総合的な組織を立ち上げます。約束します。なんかやらんといかん。

実施済・実施中の事項

●

捕獲従事者に対し捕獲事業補助金10,000円、ハンター保険料補助金5,000円を交付しています。(通年)

今後の計画等

鳥獣被害対策は、①山から出さない②農地へ入れない③捕獲し増やさないを総合的な対策の基本方針として進めていきます。
総合的な被害防止対策のため地域組織を設立し、各地域の実情を踏まえたモデル事業や実証実験を行います。

予定日 2011/12/20

神坂スマートインターチェンジ

平成 22 年度

計画課 1074

質問 (神坂地区住民)

・神坂スマートインターはパーキングの近くに来るということだが、地権者は住宅も建てたし今さらどこかへ移転は無理と反対している。周辺住民はパーキングが近くで振動、騒音、ほこりのなかで子育てしてきた。学校も近く、学校の門の前がロータリーになって車が出るという話はどうなのか。危険になれば子育てに不向きで子どもがかえってこない。
・騒音の検査の件だが、検査は来年から自分でやってくれと言われた。移転対象ではない近隣の家では防音の補償はでるのか。

答弁 (市長)

・この案件は事業説明になるので、別途地域の皆さんと基盤整備部長とのやりとりで説明させていただき、話を聞かせていただき、事情は十分に聞いて取り組む。
・住宅が計画地の入る方について事情があることは承知している。事情によって煩わしいことも承知しているので、移転する人、関係する皆さんにご理解をいただき、ご迷惑になる部分はできるだけ煩わさないようにしたい。

実施済・実施中の事項

事業実施に向け地元同意を得るべく地権者の交渉をしています。

今後の計画等

・平成23年度は神坂地区関係者調整を継続しつつ、関係機関との検討部会を重ね、スマートインターチェンジ設置に向けた地区協議会の設立及び連結許可の取得に取り組みます。
・スマートインターチェンジ設置に伴い発生が懸念される交通安全問題、環境悪化問題等については、これから作成する詳細設計において可能な限り配慮させていただきます。

予定日

福祉バスの運行について

平成 22 年度

情報交通課 1075

質問 (神坂地区住民)

神坂地区、中切から霧が原、細野へ行って中切朝9:30、帰りは夕方4:30ごろ。平坦ではない細野は急傾斜地でバスが来ないので歩くのが大変。帰りのバスが4:30では冬は遅くて暗くなる。2:00ごろには帰りたい。バスが来ないところにも通してほしい。運転できない高齢者は出て来れない。
福祉バスの役割はすごく重要。蛭川で福祉バスが便利な運行状況のようだった。運行の時間帯と道順をもう少し考えてほしい。神坂でNPOを招いて自分たちで考えていたけれど、ボランティアに加入している人も年寄りばかり。年寄りばかりで自分たちでこのさきどれくらいできるか。福祉バス、もうすこし身の入ったことをやってほしい。

答弁 (市長 神坂CC所長)

現行のファミリーサポートセンターは勤労者世帯対象で目的限定。新ファミリーサポートセンターはもっと拡大して障害、高齢者も対象に、目的も広くしたい。コミュニティバスより人数が少なくても運行できる。運行対象範囲も広げて(高齢者ばかりの地区など)補うように取り組みをしていきたい。
公約にしたコミュニティバスは実現したが、互助交通はまだ実現していない。モデル的に今年度からやっていくので、それを報告していくので神坂でもご期待していただきたい。蛭川でできて神坂でできないのは所長がらみ。所長に答えてもらおう。落合と一緒に勉強会して、使い勝手が悪いという意見をいただいて情報交通課とも検討。神坂でも勉強会しているので互助交通の勉強をして何とかしていきたいと取り組んでいるのでよろしくお願ひします。
モデル事業の募集にはひまわり湯舟の会では踏ん切りがつかず、手をあげていないが、勉強中。時間はかかるが取り組んでいきます。次は手を上げていきたいと思います。現場がやる気になればいい。所長が引き出してくるように。市長がやれというのではなく、所長がやる。

実施済・実施中の事項

運行時間帯や行き先などの自由度の高い互助交通制度の実現に向けて、神坂事務所が中心になり地域のアンケートを実施、集計分析中です。阿木地区での実証実験の状況等課題を関係者で共有しながら展開していきます。

今後の計画等

平成23年度阿木地区互助交通実証実験。
福岡地区地元協議。
神坂地区地元協議、アンケート実施。
平成24年度阿木地区実証実験結果検証。
福岡地区、神坂地区での実施に向けた調整。

予定日

生活介護支援など移動手段

平成 22 年度

神坂事務所 1076

質問 (神坂地区住民)

・ボランティアをしているが、落合のディサービスへ集まるとなると車でいける便利な人がいけるだけ。奥のほうに住んでいると神坂公民館でいい講座があっても出てこられない。なんとかして閉じこもっている人が出てこられるようにしてほしい。

答弁 (市長、落合・神坂CC所長) △

・落合だけではなく、持ち回りで地区を交代するとか、各地区で開催するとなると困難な面ある、地域と話し合い。各地区所長と地域の皆さんとで話す。健診や予防接種など合併後に地区をまとめた。公平性も考え、効率だけではなく、考えていく。
・高齢者の足の確保、大きな課題。落合と一緒になって互助交通についても進めていきます。
・互助交通についても、落合も高齢化進む中、実現するようまちづくり協議会で検討してもらっている。
・落合の方が人口が多いから落合に行くことが多いだろうが、神坂だけの問題ではなく、落合と神坂両コミセンで調整していかせてください。

実施済・実施中の事項 ●

アンケートの集約、分析をしました。

今後の計画等

アンケート調査結果を23年度中に報告をします。神坂地区における今後の互助交通の取組みを検討する会議を開催します。

予定日

市民病院について

平成 21 年度

総務人事課 641

質問 (神坂地区住民)

内科医がいなくなると聞いた、どのような状況なのか。

答弁 (市長) △

全国的な医師不足の中で地方病院は特に大変厳しい状況。医師確保は派遣先の大学病院にお願いするしかなく、恵那市とともにこの地方の拠点病院としての重要性を訴えていく。

実施済・実施中の事項 ●

平成23年度については、8月末で27回大学医局へ派遣依頼しており、内科医が一番減少した平成22年5月の8人に対し、現在は12人と徐々に回復しています。

今後の計画等

・大学医局に継続的に医師派遣を理解してもらえよう、中津川市としての将来ビジョンを示していきます。

予定日

スマートインターについて

平成 21 年度

計画課 654

質問 (神坂地区住民)

進捗状況を教えてください。

答弁 (市長) ○

インターを設置するには厳しい条件のPAである。公約でもあり、理事にも加わってもらいより良い方法について検討していく。

実施済・実施中の事項 ●

・平成22年度は神坂・馬籠地区で事業説明会を行い、事業計画予備設計と関係機関との検討部会を行い事業を進めています。
・平成22年6月には「神坂・馬籠スマートインターチェンジ設置準備会」の設立、平成22年9月には前原国土交通大臣へ整備促進要望を行いました。

今後の計画等

・平成23年度は神坂地区関係者調整を継続しつつ、関係機関との検討部会を重ね、スマートインターチェンジ設置に向けた地区協議会の設立及び連結許可の取得に取り組みます。

予定日